

ニッコンホールディングス株式会社との 「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、ニッコンホールディングス株式会社（代表取締役社長：黒岩 正勝、以下「ニッコンホールディングス」）に対して、「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ方針や戦略と連携したサステナビリティ目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット：以下「SPTs」）を設定し、金利等の借入条件を SPTs の達成状況に連動させて目標達成への動機付けを行うことで、環境や社会面での持続可能な経済活動の促進を支援するローンです。

本商品は、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に基づき、みずほ銀行が独自に開発したフレームワークを用いたサステナブルファイナンス商品です。本商品のフレームワークは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」等に適合する旨の第三者意見書（※2）を取得しています。

本件は、ニッコンホールディングスが、鉄道輸送へのモーダルシフトやダブル連結トラックによる積み合わせ輸送の実施、トラックにソーラーパネルを搭載し、電装品の作動をソーラー発電で賄う実証実験に取り組むなど、環境に対応した物流スタイルへと変えていく必要があるという考えのもと、GDP（※3）気候変動スコアにおいて「A-」以上を取得することを SPT として設定しています。

ニッコンホールディングスは、2023年4月から開始している第13次中期経営計画において、「事業活動を通じ、人々が幸せを実感する豊かな社会の実現と持続的な発展に貢献する」を経営方針に掲げ、地球環境問題をはじめとした様々な社会課題に対しても、ESG経営による企業価値向上に向け積極的に取り組むこととし、特定されたマテリアリティに対しても、目標を設定しています。

〈みずほ〉は、パーパスである「ともに挑む。ともに実る。」のもと、お客さまの持続的成長および中長期的な企業価値の向上に貢献することをめざします。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：ニッコンホールディングス株式会社

契 約 金 額：20億円

実 行 日：2026年5月29日

期 間：5年

みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO 評価書

(https://www.mizuho-bank.co.jp/corporate/finance/growing_field/sll_pro/pdf/2026_01.pdf)

※1：「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の商品概要にかかるウェブサイト

https://www.mizuho-bank.co.jp/corporate/sustainability/sll_pro/index.html

※2：株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見書

https://www.jcr.co.jp/download/eadaabe82ee29a25dd3ead0db3dd1d4e22b212aa6ec27e2a5b/25d1126_02.pdf

※3：CDP

英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）。脱炭素社会の実現に向け、企業や自治体等の気候変動対応や GHG 排出量削減等の取り組みに関する情報を収集し、取組状況に応じたスコアリングを世界に公表することにより、各企業等の環境影響を認識させ、さらなる取り組みを促進させることを目的としている (<https://cdp.net/ja>)